

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 305 号	氏名	鋤塚 大
学位審査委員	主査 由井 克之 副査 江口 勝美 副査 小路 武彦		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、全身性強皮症の病態解明に向けて新たな自己抗体の存在を調べたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 多数の患者血清について、ELISA 法、ウェスタンブロット法、酵素活性抑制試験と様々な方法で抗ヒストンデアセチラーゼ (HDAC) 抗体の存在を調べており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、抗 HDAC 抗体は健常人で検出されたが全身性強皮症患者ではそれより低値であり、抗 HDAC 抗体が防御性自己抗体である可能性が示唆された。全身性強皮症の病因・病態解明に向けての進展が期待される。</p> <p>以上のように本論文は全身性強皮症の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			